

「かなしみはちからに」

自分の体験を誰かのために

(合) 風の丘福祉工房
就労支援センター風の丘

金子愛美

今日お話しすること

①東日本大震災の経験から

②障がい者の就労支援

③だれもが幸せに暮らしていくために

簡単な自己紹介

福島県出身。2011年に起こった東日本大震災以降、スクールソーシャルワーカーとして3年間勤務。

2014年、就労支援センター風の丘の立ち上げから勤務。障がい者の就労支援に携わる。支援の中で、防災やアート、自然科学等のプログラムを担当。

国家資格は、社会福祉士と精神保健福祉士を保持。その他に、栃木県障害者芸術支援員、ひきこもりサポーターの研修も受けている。

仕事以外では、"さのボラねっと"というボランティア団体に所属し、出来る範囲で防災のイベントなどのお手伝いをしています。

好きなものは、宮沢賢治と絵を描くこと。チェロを弾いたりもしています。

①東日本大震災の経験から

震災での経験が、「何を大切にしたいのか」
の原体験となっている。

生きるか死ぬかの中で、「生きるとはなにか」
「人間とはなにか」という問いにぶつかった。

「人間らしく生きる」とは？



就労支援センター風の丘での支援・プログラム
ラムの中に反映されている。

②障がい者の就労支援

障がい者の就労支援を提供

対象は、障害者手帳をお持ちの方・精神科に通院している方。
一般企業で働きたい希望のある方が利用します。

働くまでの支援と、働いた後の支援

専門的なことばで言うと、**就労移行支援**、**就労定着支援**と言います。

支援の流れ

働くまでの支援

就労移行支援

2年間の中で、働き続けられる仕事があるか、考えていきます。

体験実習・就職

ハローワークなどの関係機関と協力しながら、行います。職場体験実習を経て、就職する方が多いです。

働き続ける支援

就労定着支援

就職後に起きる生活問題に、具体的に対応していきます。

就労支援センター風の丘 プログラム紹介







下等算術

1. 100円を100人に配るにはどうするか。
2. 100円を100人に配るにはどうするか。







人生で最悪な時期に出会う人
たち。辛い、苦しいといった
体験を我慢して、表に出さな
いで生きてきた。



自分の弱さを他人に対して
出すことで、自分自身の理
解も深まる。



「弱さでつながる」

③だれもが幸せに暮らしていくために

「かなしみはちからに、
欲（ほ）りはいつくしみに、
いかりは智慧にみちびかるべし。」

保阪嘉内あて書簡 『宮沢賢治 若き日の手紙』より

③だれもが幸せに暮らしていくために

辛い・苦しい体験を表に出せる



体験をきちんと話し合える社会



「人間らしく生きられる」社会、だれもが幸せに暮らしていけるまちにつながると信じています。



ご清聴、ありがとうございました。